

平成26年度

全国体力・運動能力，運動習慣等調査

鹿児島県結果分析



平成27年3月

平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

1 調査の目的

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、子供の体力等の状況に鑑み、全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的に文部科学省が実施しているものです。

2 調査の結果について

本調査結果は、実技調査8項目、及び運動習慣等の質問紙調査による体力等の特定の一部を示したものであります。

また、学校の教育活動は、多面的、総合的に行われるものであり、調査結果は、あくまで学校における教育活動の一側面であるので、これらの点にご留意ください。

目 次

○ 県全体の調査結果(公立)	1
1 実技に関する調査結果概要	2
2 運動習慣等に関する調査結果概要	6
3 学校に対する質問紙調査結果概要	14
4 全体考察	15
5 改善のポイント	18
○ 地区別の結果概要	20
○ 市町村別の調査結果	21

県全体の調査結果〔公立〕

本県の調査実施状況

1 調査の期間

平成26年4月～7月末

2 調査の概要

- 調査方法：悉皆調査
- 対象学年：小学校第5学年，特別支援学校小学部第5学年
中学校第2学年，特別支援学校中学部第2学年
- 調査事項
 - 児童生徒に関する調査
 - ・実技に関する調査：小学校・中学校ともに8項目の実技調査
(握力，上体起こし，長座体前屈，反復横とび，50m走，立ち幅とび，
ボール投げ，20mシャトルラン(中学校は持久走との選択))
 - ・運動習慣や運動への興味・関心に関する質問紙調査
 - 学校に対する質問紙調査
 - ・子供の体力向上に係る取組等に関する調査

3 本県調査参加校及び参加児童生徒数

○ 小学校	： 512校	14, 824人
○ 中学校	： 227校	14, 693人
○ 特別支援学校	： 6校	82人
計		745校 29, 599人

1 実技に関する調査結果概要

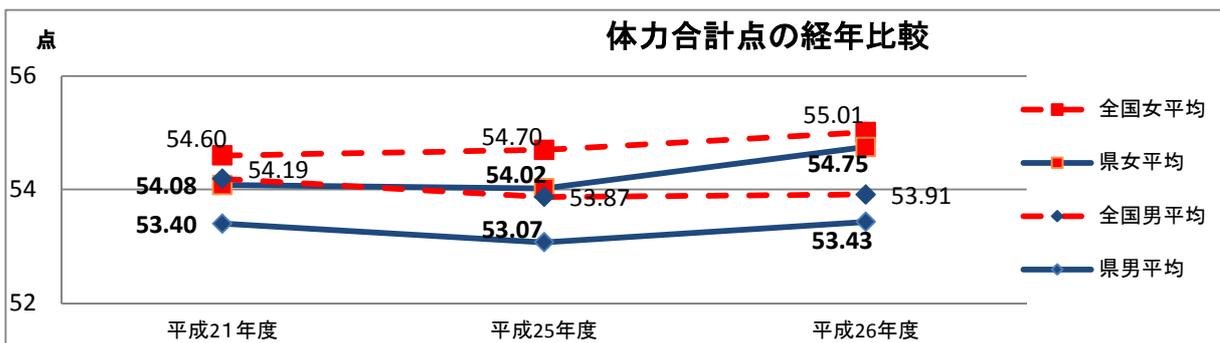
平成20年度は希望調査，平成22・24年度は抽出調査，平成23年度は東日本大震災による中止のため省略

(1) 本県の体力合計点に関する調査の結果

ア【小学校】

小学校		平成21年度(悉皆調査)			平成25年度(悉皆調査)			平成26年度(悉皆調査)		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
5年男子	5年男子	53.40	54.19	-0.79	53.07	53.87	-0.80	53.43	53.91	-0.48
	5年女子	54.08	54.60	-0.52	54.02	54.70	-0.68	54.75	55.01	-0.26

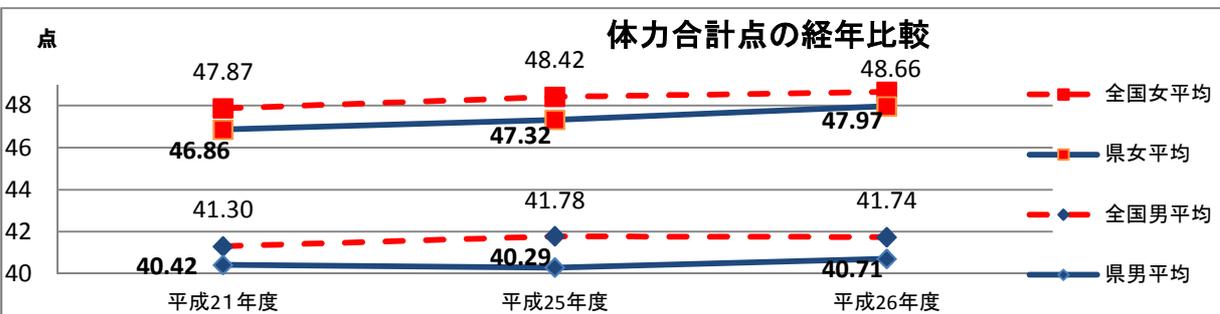
※ 体力合計点考察コメント(文科省)
 ±1点以上:高(低い) ±0.5~1点未満:わずかに高(低い) ±0.5点未満:ほとんど差がない



〈現状及び課題〉
 ○ 本県小学校の体力合計点の平均は，全国平均と比較して過去2回の悉皆調査においては，-0.8点から-0.52点となっており，「わずかに低い」結果であったが，平成26年度における平均は男女とも-0.5点未満で，「ほとんど差がない」結果であった。

イ【中学校】

中学校		平成21年度(悉皆調査)			平成25年度(悉皆調査)			平成26年度(悉皆調査)		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
2年男子	2年男子	40.42	41.30	-0.88	40.29	41.78	-1.49	40.71	41.74	-1.03
	2年女子	46.86	47.87	-1.01	47.32	48.42	-1.10	47.97	48.66	-0.69



〈現状及び課題〉
 ○ 本県中学校の体力合計点の平均は，過去2回の悉皆調査においては，全国平均と比較して-0.88点から-1.49点となっており，「わずかに低い」から「低い」結果であったが，平成26年度における平均は男子が-1.03点で「低い」，女子が-0.69点で「わずかに低い」結果となっており，体力向上が課題である。

(2) 体力合計点の度数分布

体力合計点の度数分布のグラフについて

※ 体力合計点の総合評価は、実技項目(8項目)の記録を、1点から10点に得点化し、その8項目の合計点をA, B, C, D, Eの段階に区分したものです。

○ 小学校 A:65以上 B:58~64 C:50~57 D:42~49 E:41以下

○ 中学校 A:57以上 B:47~56 C:37~46 D:27~36 E:26以下

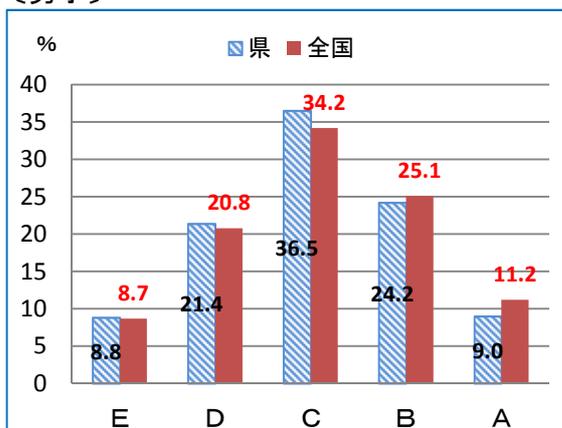
※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示しています。

※ 体力合計点考察コメント(文部科学省)

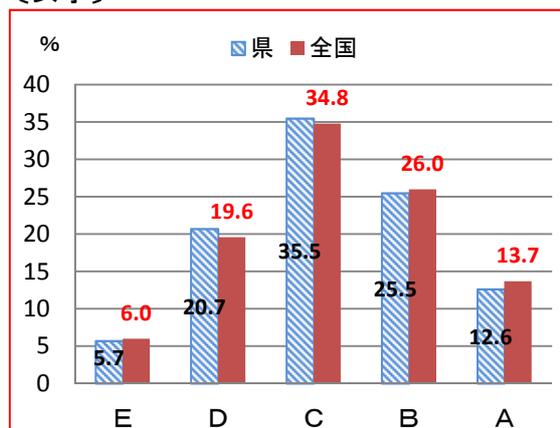
±1点以上:高(低)い ±0.5~1点未満:わずかに高(低)い ±0.5点未満:ほとんど差がない

ア【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

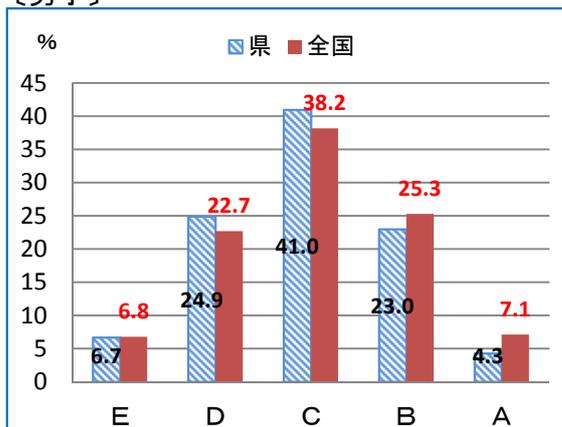


〈現状と課題〉

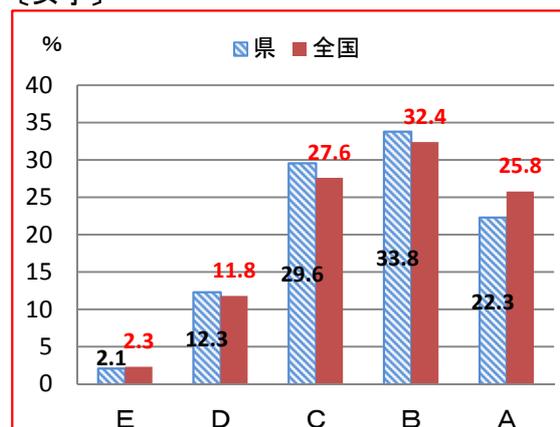
- 本県小学校男女の体力合計点の分布を全国と比較すると、男女ともに得点が高いA, Bの割合が少なく、得点が高いC, Dの割合が高い。

イ【中学校】

〔男子〕



〔女子〕



〈現状と課題〉

- 本県中学校男女の体力合計点の分布を全国と比較すると、男子は、得点が高いA, Bの割合が少なく、得点が高いC, Dの割合が高い。女子は、Aの割合は低い、Bの割合は高い。C, Dの割合は、男子と同様に高い。

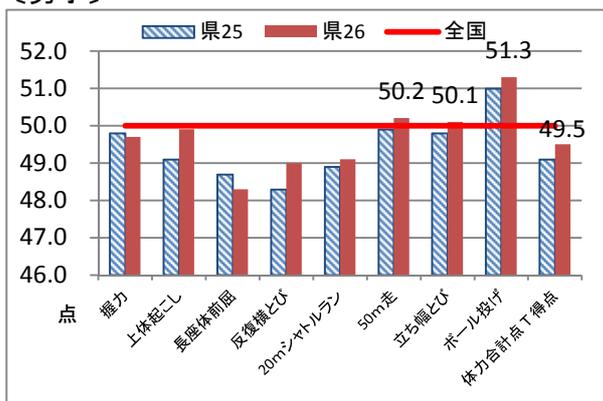
(3) 各実技調査項目のT得点結果について

各実技調査項目のグラフについて

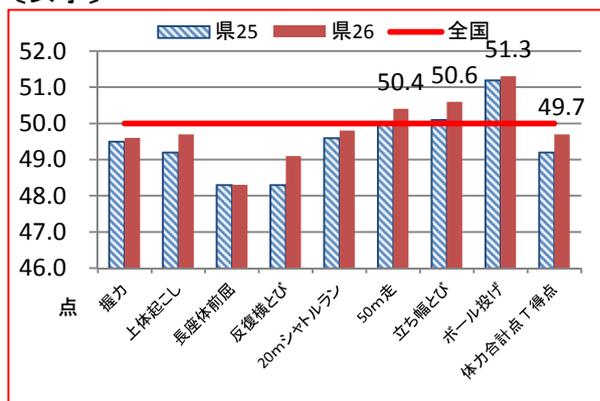
- ※ 実技調査項目は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中学校は、持久走との選択)、50m走立ち幅とび、ボール投げの8項目、及び体力合計点のT得点を示したものです。
- ※ T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較するものです。平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」で算出します。
- ※ グラフ上の50.0の目盛り線は、全国のT得点を表しています。

ア【小学校】

〔男子〕



〔女子〕

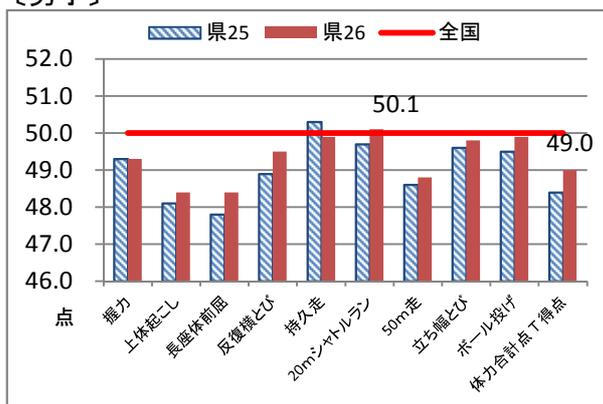


〈現状及び課題〉

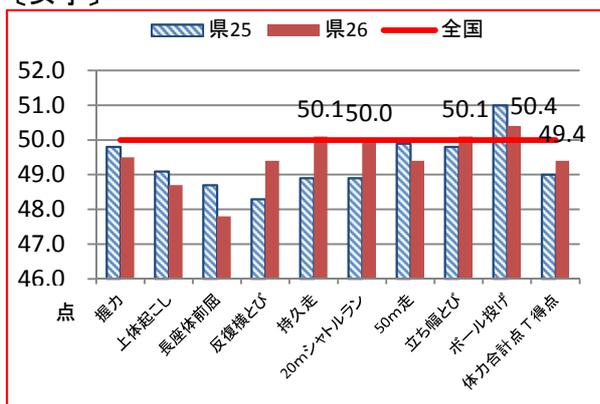
- 男女ともに、T得点50以上の実技調査項目は、50m走、立ち幅とび、ボール投げであった。
- 前年度比較すると男子は、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ボール投げの記録が向上した。女子は、男子と同じ6項目に加え握力が向上した。
- 長座体前屈は、2年連続T得点49以下で男女ともに課題である。

イ【中学校】

〔男子〕



〔女子〕

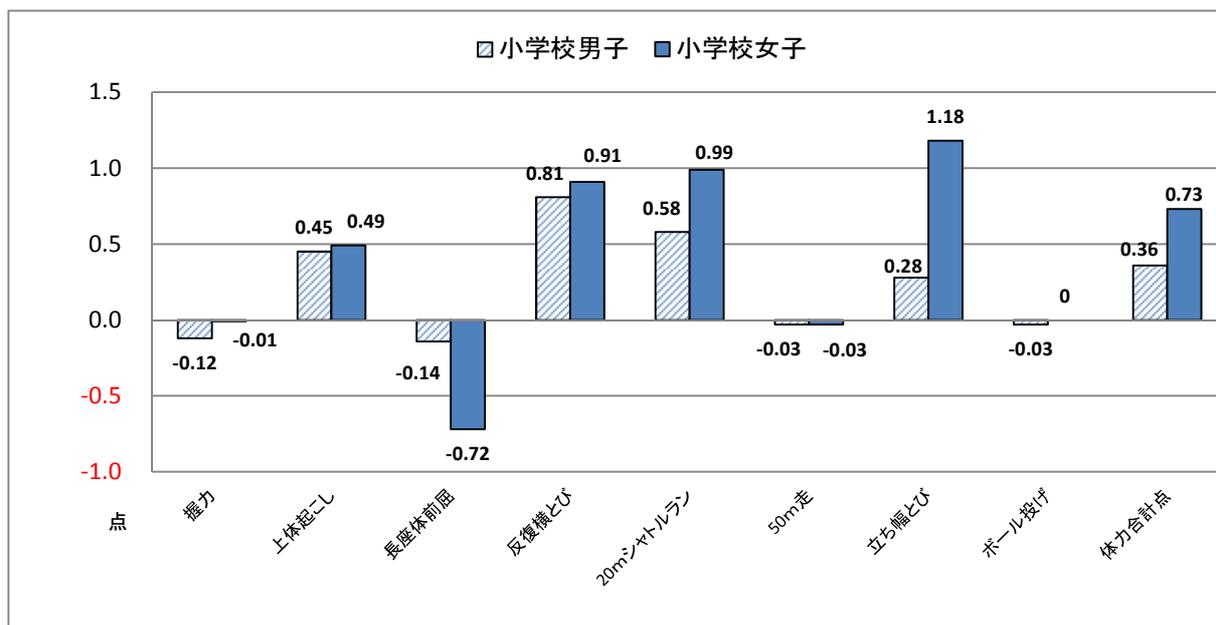


〈現状及び課題〉

- T得点50以上の実技調査項目は、男子が20mシャトルランの1項目、女子が持久走、20mシャトルラン、立ち幅とび、ボール投げの4項目であった。
- 前年度と比較すると男子は、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ボール投げの7項目の記録が向上した。女子は、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、立ち幅とびの4項目が向上した。
- 男子の上体起こし、50m走、男女の長座体前屈は、2年連続T得点49以下で課題である。

(4) 実技調査項目における体力合計点の前年度結果との比較
(平成26年度平均値－平成25年度平均値)

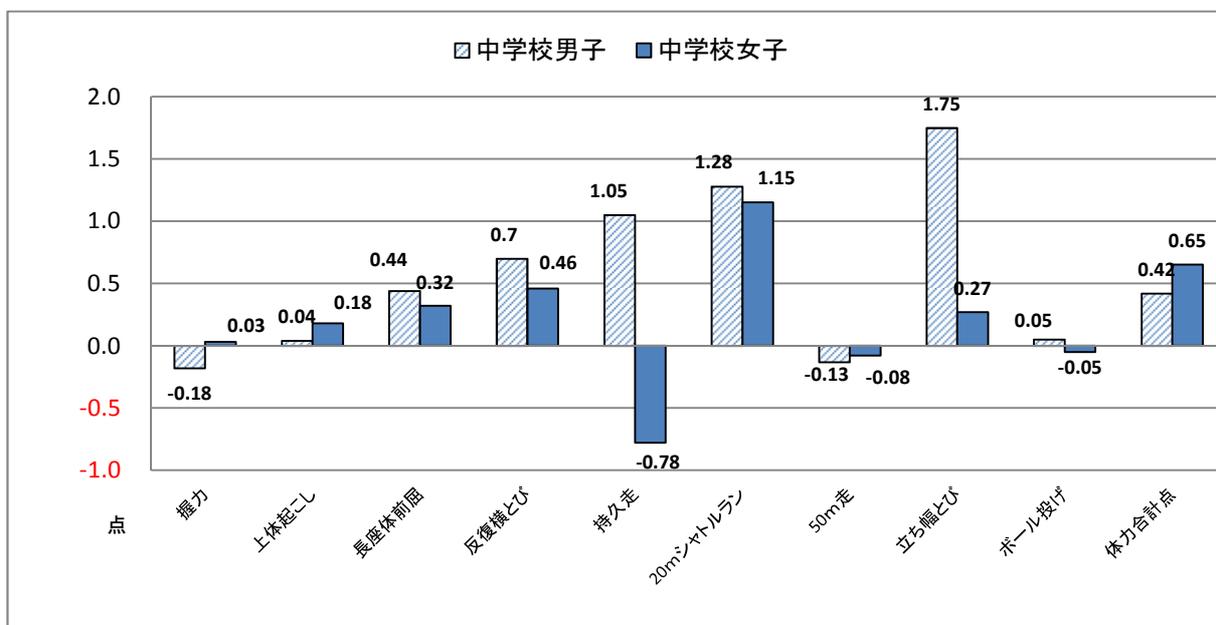
ア【小学校】



〈現状〉

- 小学校男女ともに、前年度より体力合計点に伸びがみられる。
- 小学校では、男女ともに、上体起こし、反復横とび、20 mシャトルラン、立ち幅とびが前年度より伸びがみられた。

イ【中学校】



〈現状〉

- 中学校男女ともに、前年度より体力合計点に伸びがみられる。
- 中学校では、男女ともに、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20 mシャトルラン、立ち幅とびが前年度より伸びがみられた。また、男子の持久走に伸びがみられた。